

1 研修のテーマ

「進路を見据えた生徒の自己理解とソーシャルスキル定着に向けて」

2 研修の方法

- (1) 学年研修時に気になるソーシャルスキルと課題解決の方法について挙げ、グループ協議をする。
内容はホワイトボードや付箋にまとめる。
- (2) 協議内で出た視点を基にそのスキルの指導を行う授業の参観を行う。
- (3) 授業参観後の学年研修時に気付いた視点やそれぞれの意見を情報共有する。
- (4) 共有され効果的と思われる指導法をチームで実践し、スキルの定着につなげる。(1)～(4)にあたっては教科横断的な視点をもって取り組む。
- (5) 観察結果を基に担任を中心に各生徒へのより良い指導を選択し、学年全体で行っていく。

3 研修の様子

- ・ソーシャルスキル向上に向けての手立てや実践例などを共有するようにしている。
- ・協議内容を付箋やホワイトボードに記入し、成果を写真に撮って記録として残している。
- ・生徒の近況などから小テーマを設定し、状況に応じて複数グループに分かれて協議している。
- ・後期に入り、行事や集団生活の中で起こった生徒の変化が特に大きいため、生徒の成長が見られる点や、もっとここを伸ばしたいといった点を洗い出し、指導方法について協議している。

4 成果と課題

- ・前期後期をとおして授業や休み時間の様子を学年全体で共有することができた。4月から比べて学年全体で取り組む行事などをきっかけに、生徒同士の話し合いや集団で活動する姿に変化が見られていった。
- ・普段関わりの少なかった他学科の生徒に関しても良かったところや課題を共有することができた。
- ・ソーシャルスキルに関しては全体的に少しずつ向上していった印象である。しかし、それでもあいさつ、取り組む姿勢、報告・連絡・相談など課題が残るところも多くあった。
- ・協議の中で指導・支援の方法を検討しながら進めていくことができたが、具体的な実践例などを共有したり、事例研修のようなものをしたりするとより多くの生徒支援につながったと考える。
- ・授業参観を年度初めに計画したが、予定通り進めることはできなかった。そのため研修内では情報共有と協議にばかり、その情報を持って普段の授業や生活に活かす形をとった。
- ・出張や個別対応等で人数が少ないときに研修日が重なることが多かった、そのため状況を見てグループ数を変更しながら協議していく形に変更した。人数が少ないときにどのように研修を行っていくのか、また方法や内容の変更・日程の調整に関してよりよいものがないかという課題が残った。
- ・研修内で行われた協議内容やコメントは記録として残し、簡単な年間のまとめを作成した。

